

1. 平成24年度 事業報告書

事業の状況

§ 事業をおこなうための演奏団体の指名について

- ・ 指名の基準は、振興会の創立準備期に策定された次の4項目を満たすことが条件となっており、今年度もこれを踏襲した。
 - (イ) 職業専門家で編成される混声合唱団であること。
 - (ロ) 定期演奏会を年間5回以上実施することが可能なこと。
 - (ハ) 演奏の水準が常に高いこと。
 - (ニ) 合唱団員の契約関係が整っていること。
- ・ 東京混声合唱団は創立以来満57年の歴史を持ち、定期公演は年間5回を数え、演奏姿勢に一貫性があり、安定度も高く評価も定まったものとなっている。また契約の諸条件も整備されている。
- ・ 4項目を満たす演奏団体のリスト・アップについては公平原則の視点から常時取材を行い、指名についてのフリー・ハンドを保有するものであるが、現況では適格団体は東京混声合唱団ただ一つにとどまっている。
- ・ これにより指名は東京混声合唱団に決着を見ている。

§ 事業の概要

I) 合唱音楽の演奏会の開催

(1) 定期演奏会 4回、 特別定期演奏会 1回、 計5回

★定期演奏会は第228回から第230回および特別演奏会（八月のまつり）。地方（大阪）での定期演奏会（1回）をあわせて5回

★内容

- 平成24年8月9日（木）林光追悼・東混 八月のまつり No. 33
1月に亡くなられた林光さんの追悼公演。八月のまつりのその殆どをご一緒した寺嶋陸也さんの指揮とピアノ、山田和樹さんの指揮により、「原爆小景」完結版、俵万智さんの短歌による「コメディア・インサラータ」、そして抒情歌というオール林作品。第1回目より照明をご担当いただいた古賀満平さんも昨年10月に亡くなられ古賀さんの追悼公演ともなった。「指揮も合唱も感慨ひとしおの再現だった。徹底して悲惨なのちの、終曲に溢れる力感と希望が、非常な救いとなった。骨の髄まで染み入った名演といえる。（小山晃・音楽の友）」
- 平成24年9月14日（金）（大阪）いずみホール定期演奏会 No. 17
大阪いずみホール定期は、17年目。4年連続で常任の松原千振さんと指揮者の大谷研二さんのW指揮による合唱人必聴シリーズ。《関西から世界へ跳んだ作曲家たち》と題して関西出身の作曲家特集。大谷さんは久保摩耶子さん（神戸市出身）への委嘱作品「紙・一枚」の世界初演と西村朗さん（大阪市出身）の近作、松原さんは、生誕100年を迎えた清水脩さん（大阪市出身）の作品と岸野末利加さん（京都市出身）への2011年委嘱作品「Prayer / 祈り」の改訂版初演。ピアノは齋木ユリさん。
- 平成24年10月12日（金） 第228回定期演奏会
常任の松原千振さんと指揮者の大谷研二さんのW指揮。《魂を呼び覚ます声》と題して。大谷さんは2008年1月の交通事故以降、久々の東京定期演奏会登壇。松原さんはイタリアのピツェッティ、エストニアのテウル、フィンランドのマデトヤの作品。大谷さんは久保摩耶子さんへの委嘱作品「紙・一枚」の東京初演と上田真樹さんによる最新混声合唱曲「遠くへ」。ピアノは前田勝則さん。
- 平成24年12月14日（金） 第229回定期演奏会
4月よりコンダクター・イン・レジデンスに就任した伊藤翔さんの指揮。池辺晋一郎さんへの委嘱作品「窓の声、光の声」初演と池辺さんの初めての合唱作品に

当たる1970年委嘱作品「相聞」、ロンドンオリンピックに寄せてと題してスタンフォード、ブリテン、ヴォーン・ウィリアムズによる近代イギリスの合唱作品を集めて。

●平成25年3月26日（火） 第230回定期演奏会

音楽監督の田中信昭さんの指揮。合唱のさまざまと題し、入野義朗さんによる1961年委嘱作品「凍る庭」、吉川和夫さんによる2012年の作品「どうしてあんなに」、権代敦彦さんによる2003年の作品「六字大明咒」、篠田昌伸さんによる2011年の作品「さかなまち」を。ピアノは中嶋香さん。NHK-FM「現代の音楽」にて放送。

★曲目紹介

〔東混特別演奏会 林光追悼・東混 八月のまつり 33〕

2012年8月9日（木） 第一生命ホール

指揮・ピアノ 寺嶋陸也 指揮 山田和樹 照明 立川直也

●林光作曲・原民喜詩 原爆小景（1958／1971年委嘱作品・2001）

●林光作曲・俵万智詩 コメディア・インサラータ（1988年委嘱作品）

●林光編曲 日本抒情歌曲集より

浜辺の歌、野の羊、この道、曼珠沙華、ゴンドラの唄

●林光作曲・佐藤信詩 うた、ねがい

〔いずみホール定期演奏会 No. 17〕-関西から世界へ跳んだ作曲家たち-

2012年9月14日（金） いずみホール

指揮 松原千振、大谷研二 ピアノ 齋木ユリ

●清水脩作曲-生誕100年- 台湾ツウオ族の歌（1956年委嘱作品）

●久保摩耶子作曲・松平盟子詩

紙・一枚-松平盟子 短歌より（2012年委嘱作品）-初演-

●岸野末利加作曲 ラビンドラナート・タゴール詩 「果物採集」LXXIXより

混声合唱のための Prayer / 祈り（2011年委嘱作品）-改訂版初演-

●西村朗作曲・佐々木幹郎詩 大空の粒子（2009）

〔第228回定期演奏会〕-魂を呼び覚ます声-

2012年10月12日（金） 東京文化会館小ホール

指揮 松原千振、大谷研二 ピアノ 前田勝則

●イルデブランド・ピツェッティ作曲・サッフォー詩

合唱のための2つの作品（1961）

●久保摩耶子作曲・松平盟子詩 紙・一枚-松平盟子 短歌より（2012年委嘱作品）

- 上田真樹作曲・谷川俊太郎詩 混声合唱組曲 遠くへ（２０１２）
- エルッキ＝スヴェン・テウール作曲・エンノ詩 旅人の夜の歌（２００１）
- レーヴィ・マデトヤ作曲・レイノ詩 淡い月光（１９１２）
- レーヴィ・マデトヤ作曲・キュエスティ詩 子守唄（１９１７）

〔第２２９回定期演奏会〕-伊藤翔コンダクター・イン・レジデンス就任記念-
 ２０１２年１２月１４日（金） 東京文化会館小ホール

指揮 伊藤 翔

- スタンフォード作曲 青い鳥（１９１０）
- ブリテン作曲 ５つの花の歌（１９５０）
- ヴォーン・ウィリアムズ作曲 シェイクスピアの詩による３つの歌（１９５１）
- 池辺晋一郎作曲
 - 相聞 I-笠女郎と大伴家持による（１９７０年委嘱作品）
 - 相聞 II-柿本人麻呂による（１９７０年委嘱作品）
 - 相聞 III-額田王、大海人皇子による（２００５）
- 池辺晋一郎作曲・小池昌代詩（詩集「地上を渡る声」より）
 窓の声、光の声（２０１２年委嘱作品）-初演-

〔第２３０回定期演奏会〕-合唱のさまざま-
 ２０１３年３月２６日（火） 東京文化会館小ホール

指揮 田中信昭 ピアノ 中嶋 香

- 入野義朗作曲・村野四郎詩 凍る庭（１９６１年委嘱作品）
- 吉川和夫作曲・まど・みちお詩
 どうして あんなに まど・みちおの詩による連作合唱曲（２０１２）
- 権代敦彦作曲 六字大明咒（２００３）
- 篠田昌伸作曲・甘楽順治詩 さかなまち（２０１１）

II) 合唱作品の委嘱

今年度は次の２人の作曲家への委嘱作が誕生した。

- ・久保摩耶子作曲 ・松平盟子詩 紙・一枚-松平盟子 短歌より
 （いずみホール定期 ２０１２. ９. １４）

１９４７年生まれのベルリン在住、久保摩耶子さんへの２作目の委嘱初演が実現。久保さんとの共作も多い歌人の松平盟子さんの短歌集「天の砂」から５首が選ばれた。「彼女との共作から作曲のエネルギーとアイディアが生まれます。（久保摩耶子）」

- ・池辺晋一郎作曲・小池昌代詩（詩集「地上を渡る声」より）

窓の声、光の声 混声合唱のために
(第229回定期 2012.12.14)

池辺晋一郎さんへの委嘱は12年ぶり8作品目。指揮の伊藤翔さんの強い希望により実現した。「東混からの委嘱は何度めかだが、今回は指揮が若い伊藤翔君。そのことが、僕をナイーヴな地点へいざなった。思えば、東混からの最初の委嘱は1970年。僕は万葉集の相聞歌を読んだ。あれから42年…。いにしえの言葉たちではなく、僕は、同時代の小池昌代さんを読む。心が通り過ぎたあとに点々と何か落ちていく。それが音だった...という感じを、僕は望んでいるのかもしれない。(池辺晋一郎)」

Ⅲ) アマチュア合唱団への指導者派遣

大谷研二を東工大コールクライネス、学習院女子大合唱団などの育成指揮、ほかに全日本合唱連盟各支部の合唱講座の講師・地区大会・全国審査などに派遣した。

Ⅳ) 合唱音楽に関する調査研究

諸外国に於ける混声合唱団のレポーター調査を引き続き実施した。

Ⅴ) 合唱歌手の育成

検討中

Ⅵ) 音楽に関する出版物の刊行

「合唱音楽」第32号 B5版 52ページ 3月31日発行 1,500部

Ⅶ) 文化庁主催「次代を担う子どもの文化芸術体験事業」

小中学校等において、一流の文化芸術団体による舞台芸術公演を行い、次代の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力の向上につなげることを目的とする。公演団体を東京混声合唱団とし、九州地方各地（福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県）にて、本公演を20公演、追加公演を5公演行った。

Ⅷ) 東京混声合唱団作曲委嘱活動賛助・支持会制度